

船舶事故等調査報告書

平成21年7月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第53号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年1月13日 10時30分ごろ	
発生場所	東京灯標から真方位015° 4.5海里付近 (概位 北緯35° 38.5′ 東経139° 51.0′)	
事故等調査の経過	平成21年2月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 エセス3世、19トン	
船舶番号、船舶所有者等	240-30046、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	右舷船底中央微小破口、左舷船底中央き裂	
事故等の経過	本船は、東京都荒川河口から葛西臨海公園に向け航行中、浚渫作業船の近くを南下して左転したところ、平成21年1月13日10時30分ごろ、船体後部に振動を感じた。 ドックで上架したところ前記損傷を発見した。 当時の喫水は船首尾とも約1.2m、水深約1.2mであった。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風力 2、風向 西 海象：潮汐 下げ潮中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし なし なし 浚渫作業船の付近に未測の浅所が存在した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が航行中、浚渫作業船の付近に未測の浅所が存在したため、同浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
備考	き裂から空洞のスタビライザーに海水が浸水したが、入渠造船所で修理した。	